

EVENT もよおしのご案内

灯の回廊 ~60キロ・10万本の灯~

安塚区・大島区・浦川原区・牧区・高士区・名立区の総延長約60kmの沿道に10万本もの灯がともるイベントです。各地域において子どもからお年寄りまで、住民総出で一つ一つのキャンドルに想いを込めて作り上げています。また、各地で大小の雪像が作られ、茶屋なども設置されます。キャンドルの灯と雪像が作り出す温かな雪の世界をお楽しみください。詳しくは、本号とあわせて配布した「灯の回廊パンフレット」をご覧ください。

▶とき…2月23日(土) ▶ところ…安塚区(安塚キャンドルロード)、大島区(大島雪ほたるロード)、浦川原区(うらがわら雪あかりフェスタ)、牧区(まき深山のともしび)、岩の原葡萄園・高士地区多目的研修センター(高士ルミネ)、名立区不動地域(不動ミニキャンドルロード) ▶問合せ…観光振興課(☎025-526-5111、内線1246)



安塚キャンドルロード (船倉茶屋)



大島雪ほたるロード (ほくほく大島駅)



うらがわら雪あかりフェスタ (雪上広場)



まき深山のともしび (ふるさと村茶屋)



高士ルミネ (高士マルシェ)



不動ミニキャンドルロード (不動の茶屋)

もっと知ろう! 「人にやさしいまちづくり」④

今回は、「物理的障壁」について紹介します。
(ここで言う「障壁」とは、「人にやさしいまちの実現を妨げるもの」を指します)

「物理的障壁」とは?

○移動や利用がしにくい施設や設備

階段や、歩道・出入口の段差や通路幅の狭さなどは、障害のある人や高齢者などにとって、移動・利用する際の妨げとなることがあります。

【身近にある物理的障壁】

- ・通路に物が置いてあり、狭くてベビーカーが通れない。
- ・建物の入口に階段しかなく、車いすで入ることができない。
- ・トイレが狭くて利用しづらい。
- ・自動販売機のボタンの位置が高くて届かない。
- ・床が滑りやすく歩きにくい。



「物理的障壁」は、どうしたら取り除ける?

施設や設備では、さまざまな状況の人が使うことを想定して、「ユニバーサルデザインの考え方」(*)を取り入れた整備や改修が求められます。それができない場合でも、少しの工夫や配慮で改善できることがあります。

- ・段差があるところでは、簡易スロープを設置するなどの工夫をしましょう。
- ・通路は物を置かず、また、点字ブロックの上で立ち止まって会話をしたり、自転車等を置いたりしないようにしましょう。
- ・階段の前で困っている人がいたら「何かお手伝いすることはありますか」などと、声をかけてみましょう。



※障害の有無や性別、年齢、国籍などの違いにかかわらず、誰もが使いやすい建物や物などをデザイン(計画)しようという考え方

身近にあるユニバーサルデザインの例

●段差のない入口と自動ドア



市役所木田庁舎正面玄関
建物の入口に高い段差がなく、自動ドアで誰もが使いやすくなっています。

●多目的トイレ



上越妙高駅自由通路の多目的トイレ
十分な広さがあり、手すりやおむつ交換台などが完備され、車いすの人や小さい子ども連れの人が安心して使えます。

(次回は「心のユニバーサルデザイン」について紹介します)

問合せ…共生まちづくり課(☎025-526-5111、内線1396)